

# 墨田川略年表

| 西暦    | 年号    | 干支 | 事 跡  | 備考              | 徳川将軍    |
|-------|-------|----|--|-----------------|---------|
| 1590年 | 天正18年 | 庚寅 | 8月豪雨で浅草千束・不忍池洪水。9月26日街割で日本橋本町出来。10月井の頭より江戸城迄引水(神田上水) | 8月1日徳川家康江戸入城    |         |
| 1591年 | 天正19年 | 辛卯 | 佃島の漁がここからはじまる。                                       | 2月千利休自刃         |         |
| 1592年 | 文禄1年  | 壬辰 | 江戸城西北の地を大番組に与え一番町から六番町と命名。「高麗陣」用の軍船2隻を浅草川で建造。        | 文禄の役            |         |
| 1593年 | 文禄2年  | 癸巳 | 3月代官頭:伊奈忠次に千住大橋架橋を命じる。日比谷の入江埋め立て。江戸湾で捕鯨。             | 小笠原諸島発見         |         |
| 1594年 | 文禄3年  | 甲午 | 3月代官頭:伊奈忠次が千住大橋架橋。                                   |                 |         |
| 1595年 | 文禄4年  | 乙未 | 徳川氏 金貨鑄造(武蔵小判)。舟町と四日市の橋のためとで銭甕が掘出され、それよりこの橋を銭甕橋という。  | 江戸で金座ができる       |         |
| 1596年 | 慶長1年  | 丙申 | 1月連日豪雨、浅草～葛西で死者300～400名。深川八郎右衛門ら6人が深川を開く。            | 4月浅間山噴火         |         |
| 1597年 | 慶長2年  | 丁酉 | 千住宿、奥州路の人馬の継場村となる。                                   | 慶長の役 3月浅間山噴火    |         |
| 1598年 | 慶長3年  | 戊戌 | 3月江戸大風で江戸城北の門倒壊、船舶多数うが覆没。                            | 8月豊臣秀吉(63)卒     |         |
| 1599年 | 慶長4年  | 己亥 | 6月下総・上総・武蔵大風。  |                 |         |
| 1600年 | 慶長5年  | 庚子 | 6月多摩川に六郷橋架橋。   | 9月関ヶ原の戦い        |         |
| 1601年 | 慶長6年  | 辛丑 | 火事:11月2日-日本橋駿河町から出火、当時の全市を焼く。草ぶき禁止令。                 | 慶長大判・小判など造る     |         |
| 1602年 | 慶長7年  | 壬寅 | 6月1日日本橋馬喰町以外での馬売買の禁止。                                |                 |         |
| 1603年 | 慶長8年  | 癸卯 | 3月江戸市街工事着手。日本橋架橋。                                    | 2月徳川家康:征夷大將軍    | 初代/徳川家康 |
| 1604年 | 慶長9年  | 甲辰 | 江戸城大改修始まる。4月暴風雨、隅田川など諸河川氾濫。12月関東に大地震、津波発生            | 日本橋を五街道の基点とする   | 初代/徳川家康 |
| 1605年 | 慶長10年 | 乙巳 | 牢屋敷、大橋下から日本橋小伝馬町に移る。                                 |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1606年 | 慶長11年 | 丙午 | 5月暴風による出水、品川沖で工事運搬船多数難破。9月江戸城本丸工事終了、秀忠が入る。           |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1607年 | 慶長12年 | 丁未 | 2月20日出雲の阿国、城内にて歌舞伎上演。4月24日朝鮮通信使が来日、初めて江戸に入る。         | 4月天守閣・北の丸造営     | 2代/徳川秀忠 |
| 1608年 | 慶長13年 | 戊申 | 6月11日 4月の長雨で関東などで洪水が起きる。                             | 9月小石川伝通院造営      | 2代/徳川秀忠 |
| 1609年 | 慶長14年 | 己酉 | 7月14日 喫煙が禁止される。この年、江戸の人口15万人(日本見聞録より)。               | 5月城内で四座猿楽勧進能開催  | 2代/徳川秀忠 |
| 1610年 | 慶長15年 | 庚戌 | 8月25日琉球を征伐した島津家久が琉球王尚寧をつれて江戸に入る。                     |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1611年 | 慶長16年 | 辛亥 | 街道筋(駄賃馬の制)。5月17日龍の口汐入堀が伊達政宗の普請担当で開削。                 |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1612年 | 慶長17年 | 壬子 | 3月西国大名に江戸湊の船着き場築場を命じる(八丁堀川など開削)。                     |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1613年 | 慶長18年 | 癸丑 | 6月7日神田明神社の天王神輿が江戸城に入る(天王祭りの起こり)。                     | 12月キリスト教禁止令     | 2代/徳川秀忠 |
| 1614年 | 慶長19年 | 甲寅 | 8月28日年来まれなる大風、家屋の被害多数。深川八郎右衛門隅田川口東岸地区を開拓。            | 10月大阪冬の陣        | 2代/徳川秀忠 |
| 1615年 | 元和1年  | 乙卯 | 6月1日大地震、詳細不明。日本橋通二丁目に白粉・鬢付油を扱う「柳屋」創業。                | 5月大阪夏の陣         | 2代/徳川秀忠 |
| 1616年 | 元和2年  | 丙辰 | 神田川北岸鳥越村を拓き神田久右衛門町、浅草瓦町、浅草平右衛門町を起立。                  | 4月徳川家康(75)卒     | 2代/徳川秀忠 |
| 1617年 | 元和3年  | 丁巳 | 4月江戸、連日暴風雨で洪水。庄司甚右衛門が日本橋葦屋町に遊郭開設の官許得る(翌年開業)。         |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1618年 | 元和4年  | 戊午 | 溝普請奉行阿倍正之が、江戸道路巡視・水道支配を命じられる。                        |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1619年 | 元和5年  | 己未 | 長谷川豊前が西久保八幡宮境内の「時の鐘」をつくる。                            |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1620年 | 元和6年  | 庚申 | 諸大名に命じ、隅田川本所堤・日本堤を修築。鳥越の丘を崩して隅田川西岸を埋め米蔵を建てる。         |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1621年 | 元和7年  | 辛酉 | 利根川第二次改修工事開始。  |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1622年 | 元和8年  | 壬戌 | 12月川船奉行設置。   |                 | 2代/徳川秀忠 |
| 1623年 | 元和9年  | 癸亥 | 深川海辺大工町一帯の開発が進み、川船の港町が出来る。                           |                 | 3代/徳川家光 |
| 1624年 | 寛永1年  | 甲子 | 8月利根川・太日川氾濫で亀有・葛西から隅田川東岸まで洪水。                        | 2月勘三郎中橋で歌舞伎を初興行 | 3代/徳川家光 |
| 1625年 | 寛永2年  | 乙丑 | 千住宿を日光街道中の初宿に指定。赤堀川の開削が始まる。                          | 11月東叡山寛永寺建立     | 3代/徳川家光 |
| 1626年 | 寛永3年  | 丙寅 | 9月船手頭石川政次が隅田川河口の砂洲を与えられる。10月遊郭・葎原を吉原と改称。             |                 | 3代/徳川家光 |
| 1627年 | 寛永4年  | 丁卯 | 6月将軍家光が浅草川で船遊、御家人の水馬訓練をみる。 8月隅田川洪水。                  |                 | 3代/徳川家光 |
| 1628年 | 寛永5年  | 戊辰 | 7月11日江戸に地震。  |                 | 3代/徳川家光 |

|       |       |    |  |                 |         |
|-------|-------|----|--|-----------------|---------|
| 1629年 | 寛永6年  | 己巳 | 伊奈忠治により荒川の流路切り替え工事がおこなわれ、在来の荒川幹流は元荒川となる。                 | 2月水戸藩:小石川に後楽園造営 | 3代/徳川家光 |
| 1630年 | 寛永7年  | 庚午 | 6月23日地震。下谷・三味線堀の掘割を造る。                                   | 8月山王権現社が麴町に移転   | 3代/徳川家光 |
| 1631年 | 寛永8年  | 辛未 | 8月14日関東大洪水、大風家屋を壊し樹木を折る。                                 | 9月町奉行:2名制で町方を所轄 | 3代/徳川家光 |
| 1632年 | 寛永9年  | 壬申 | 4月中橋の中村勘三郎芝居などを禰宜町(現中央区)に移す。                             |                 | 3代/徳川家光 |
| 1633年 | 寛永10年 | 癸酉 | 1月21~26日東海から江戸にかけて地震(小田原地震)。4月~6月連日降雨、千住・浅草など特に被害大。      |                 | 3代/徳川家光 |
| 1634年 | 寛永11年 | 甲戌 | 7月江戸城西丸全焼。村山又三郎が日本橋・上塚町に村山座を興す(のち市村座と改称)。                |                 | 3代/徳川家光 |
| 1635年 | 寛永12年 | 乙亥 | 1月25日地震。6月家光、品川沖で安宅丸を観る。                                 | 6月参勤交代制度化       | 3代/徳川家光 |
| 1636年 | 寛永13年 | 丙子 | 6月橋場の銭場で寛永通宝を鑄造(浅草銭・御蔵銭)。浅草見附御門が建立(隅田川に一番近い見附)。          | 3月高田の馬場完成       | 3代/徳川家光 |
| 1637年 | 寛永14年 | 丁丑 | 深川海辺大工町に奥川船の湊築かれ、奥川筋の水運始まる。                              | 11月島原の乱         | 3代/徳川家光 |
| 1638年 | 寛永15年 | 戊寅 | 1月1日暴風雨。東照宮再建資材を内川水運利用して輸送(荒川を外川に対する名称)。                 |                 | 3代/徳川家光 |
| 1639年 | 寛永16年 | 己卯 | 江戸城火災:8月11日-本丸焼失。8月家光が隅田川で網漁をみる。                         | 7月鎖国制度完成        | 3代/徳川家光 |
| 1640年 | 寛永17年 | 庚辰 | 近江国鑄造師:釜屋六右衛門らが芝の海辺で鑄物業を始める。                             | 1月旗本に節約令        | 3代/徳川家光 |
| 1641年 | 寛永18年 | 辛巳 | 火事:1月29日-京橋から出火、新橋・木挽町など延焼。火事:3月30日-日本橋から出火、箔屋町など延焼。     | 3月木場が日本橋から深川移転  | 3代/徳川家光 |
| 1642年 | 寛永19年 | 壬午 | 3月岡村子兵衛、木挽町に山村座を開く。3~7月大飢饉、米価高騰で死者多出。                    |                 | 3代/徳川家光 |
| 1643年 | 寛永20年 | 癸未 | 1月家光が隅田川筋で鷹狩をする。足立の農民、伝右川・小溜井(綾瀬川旧川道)を造成。                | 9月大名火消誕生        | 3代/徳川家光 |
| 1644年 | 正保1年  | 甲申 | 5月家光が隅田川で尾張の鶴匠の鶴飼を見る。8月連日豪雨で墨田川氾濫、幕府検分使を各所に派遣。           | 7月谷中感応寺 五重塔建立   | 3代/徳川家光 |
| 1645年 | 正保2年  | 乙酉 | 火事:12月15日異本橋富沢町から出火、吉原全焼。佃島渡し船始まる。                       | 江戸で瓦が焼き始めた      | 3代/徳川家光 |
| 1646年 | 正保3年  | 丙戌 | 浅草蔵奉行・城米蔵奉行に、蔵米管理の法令を出す。                                 | 11月大名の江戸廻米禁止    | 3代/徳川家光 |
| 1647年 | 正保4年  | 丁亥 | 3月隅田川大念仏盛んとなる。銚子から利根川えを遡り、江戸川を下って江戸に至る航路が開ける。            | 9月皇弟親王が輪王寺門跡    | 3代/徳川家光 |
| 1648年 | 慶安1年  | 戊子 | 1月新河岸の名が検地帳にでる(初見)。7月暴風雨。                                | 浅草寺五重塔建立        | 3代/徳川家光 |
| 1649年 | 慶安2年  | 己丑 | 6月~7月大地震。家光が浅草神社拝殿を造営。                                   | 2月慶安の御触書        | 3代/徳川家光 |
| 1650年 | 慶安3年  | 庚寅 | 3月23日大地震。深川方面に被害。  | 6月浅草寺観音堂普請開始    | 3代/徳川家光 |
| 1651年 | 慶安4年  | 辛卯 | 5月河岸通りの材木積み方に関する町触がでる。                                   | 丸橋中弥ら幕府転覆を謀る    | 4代/徳川家綱 |
| 1652年 | 承応1年  | 壬辰 | 8月暴風雨による風水害。甲府綱重が海手下屋敷(後:浜御殿)を拝領。                        | 6月若衆歌舞伎禁止       | 4代/徳川家綱 |
| 1653年 | 承応2年  | 癸巳 | 2月11日代官伊奈忠治が玉川上水開削奉行を命じられる。                              |                 | 4代/徳川家綱 |
| 1654年 | 承応3年  | 甲午 | 6月玉川上水完成。赤掘川の開削により利根川の流路に大きな変化が現れる。                      | 4月玉川上水:江戸市中に通水  | 4代/徳川家綱 |
| 1655年 | 明暦1年  | 乙未 | 11月町方の塵芥の川への投棄禁止。  |                 | 4代/徳川家綱 |
| 1656年 | 明暦2年  | 丙申 | 7月隅田川の舟遊びについての規制が行われる。                                   |                 | 4代/徳川家綱 |
| 1657年 | 明暦3年  | 丁酉 | 振袖火事(江戸三大火災):1月18日-本郷丸山町の本妙寺から出火、死者10万余人、400町延焼、江戸2/3消失。 | 8月遊郭:吉原を浅草千束に移す | 4代/徳川家綱 |
| 1658年 | 万治1年  | 戊戌 | 7月坪内籐右衛門、柴山権左衛門が両国橋架橋の奉行を命じられる。                          |                 | 4代/徳川家綱 |
| 1659年 | 万治2年  | 己亥 | 12月両国橋完成。本所開発の本格化(堅川横川、亀有上水などの開削工事開始)。                   | 砂村新左衛門ら深川で新田開発  | 4代/徳川家綱 |
| 1660年 | 万治3年  | 庚子 | 火事:1月14日-湯島門前から出火。伊奈忠克による葛西用水路開削(本所への給水開始)               | 本所村の田地収公進む      | 4代/徳川家綱 |
| 1661年 | 寛文1年  | 辛丑 | 火事:1月27日-小石川から出火、銀座・木挽町まで類焼。小名木川通りの新堀-開削。                | 大幅な屋敷替で武家が本所移転  | 4代/徳川家綱 |
| 1662年 | 寛文2年  | 壬寅 | 5月9日 塵芥は幕府指定の塵芥船で破棄、その処理を一括請負制にする。源森橋創架(後・枕橋)。           | ゴミは船で回収、江戸湾に破棄  | 4代/徳川家綱 |
| 1663年 | 寛文3年  | 癸卯 | 源森川を開削して大横川を墨田川に通じさせる。                                   | 11月塵芥の運搬に料金徴収   | 4代/徳川家綱 |
| 1664年 | 寛文4年  | 甲辰 | 9月町々の塵芥運搬賃値上げ。   | 旗本奴:水野十郎左衛門切腹   | 4代/徳川家綱 |
| 1665年 | 寛文5年  | 乙巳 | 北新掘河岸に船見番所を設置。   | 市中に銭湯が普及始める     | 4代/徳川家綱 |
| 1666年 | 寛文6年  | 丙午 | 3月千住大橋の改架工事着工。5月隅田川氾濫、両国橋は杭柱を流される。                       | 1月下水奉行廃止、上水奉行制  | 4代/徳川家綱 |
| 1667年 | 寛文7年  | 丁未 | 2月竹町の渡し再開。小塚原に回向院建立。                                     | 5月墮胎禁止          | 4代/徳川家綱 |
| 1668年 | 寛文8年  | 戊申 | 火事:2月4日-下谷から出火、両国橋焼落ち深川に延焼。町火消し組合が改正「いろは」48組設立。          | 3月この頃より観桜が盛んになる | 4代/徳川家綱 |
| 1669年 | 寛文9年  | 己酉 | 北本所出村・柳島町など、本所一円が町屋になる。                                  | 江戸枅と京枅の統一       | 4代/徳川家綱 |
| 1670年 | 寛文10年 | 庚戌 | 8月24日本所、深川出水。  | 辻番所内の店借・食物販売禁止  | 4代/徳川家綱 |

|       |       |    |   |                     |         |
|-------|-------|----|---|---------------------|---------|
| 1671年 | 寛文11年 | 辛亥 | 8月29日連日暴風雨隅田川洪水。10月両国橋防御の触れ出し。                          | 伊達騒動                | 4代／徳川家綱 |
| 1672年 | 寛文12年 | 壬子 | 源森川の大横川寄り地埋め立、隅田川から大横川への水路断ち切る。                         | 浄瑠璃坂の仇討             | 4代／徳川家綱 |
| 1673年 | 延宝1年  | 癸丑 | 火事:1月27日-鷹匠町から出火、大手辺・京橋通など類焼。                           | 市川団十郎:初めて荒事の狂言      | 4代／徳川家綱 |
| 1674年 | 延宝2年  | 甲寅 | 11月日本橋川南本材木町に新規の魚市場ができる。                                | 松尾芭蕉:深川に移住          | 4代／徳川家綱 |
| 1675年 | 延宝3年  | 乙卯 | 2月大飢饉で柳原土手下に御救小屋立てる。6月代官伊奈忠易が小笠原諸島を探検し帰着。               | 辻駕籠が300挺に限り許可。      | 4代／徳川家綱 |
| 1676年 | 延宝4年  | 丙辰 | 火事:11月7日-吉原から失火、「新吉原」最初の大火。                             |                     | 4代／徳川家綱 |
| 1677年 | 延宝5年  | 丁巳 | 船中での踊り【踊り船】が流行。   |                     | 4代／徳川家綱 |
| 1678年 | 延宝6年  | 戊午 | 1月関東各河川に【川船極印奉行】3名を置き河川を改める。                            | 7月渋川春海が秋分点観測        | 4代／徳川家綱 |
| 1679年 | 延宝7年  | 己未 | 4月幕府が勅使一行を隅田川にて饗応。                                      |                     | 4代／徳川家綱 |
| 1680年 | 延宝8年  | 庚申 | 8月5日夜暴風雨、6日高潮発生、家屋の倒壊続出。                                |                     | 5代／徳川綱吉 |
| 1681年 | 天和1年  | 辛酉 | 6月ゴミ捨て場を永代島新田と砂村新田の2ヶ所とする。                              | 11月米価高騰、3万俵御救米下賜    | 5代／徳川綱吉 |
| 1682年 | 天和2年  | 壬戌 | <b>お七火事</b> :12月28日-駒込大円寺から出火、明暦大火以後の大震災。7月屋形船の大きさを規制。  | 9月軍船「安宅丸」廃船         | 5代／徳川綱吉 |
| 1683年 | 天和3年  | 癸亥 | 1月1日大雨 洪水。5月木場材木置き場に建築制限令。                              | 屋根番制始め              | 5代／徳川綱吉 |
| 1684年 | 貞享1年  | 甲子 | 6月屋形船の無届建造禁止令。  | 天文方新設、渋川春海を任命       | 5代／徳川綱吉 |
| 1685年 | 貞享2年  | 乙丑 | 両国橋架橋出来る。   | 1月渋川春海の新暦「貞享暦」頒布    | 5代／徳川綱吉 |
| 1686年 | 貞享3年  | 丙寅 | 3月利根川(江戸川)で下総国葛飾郡を二分-西を武蔵・東を下総とする。                      | 11月そばなど火を持ち歩く商売禁止   | 5代／徳川綱吉 |
| 1687年 | 貞享4年  | 丁卯 | 12月運送用船以外も川船奉行の極印を受ける触れ出し。                              | 生類憐みの令              | 5代／徳川綱吉 |
| 1688年 | 元禄1年  | 戊辰 | 本所経営再開。10月本所時の鐘再興。11月本所上水修復開始(翌年通水)。                    | 9月神田祭:神輿など初めて城内入り   | 5代／徳川綱吉 |
| 1689年 | 元禄2年  | 己巳 | 3月芭蕉が【奥の細道】への旅たち。                                       | 11月渋川春海が本所邸内で天文台設置  | 5代／徳川綱吉 |
| 1690年 | 元禄3年  | 庚午 | 2月御厩河岸の渡しが定渡船場として許可。 6月30日隅田川出水。                        | 3月浅草蔵前通り広小路になる      | 5代／徳川綱吉 |
| 1691年 | 元禄4年  | 辛未 | 2月本庄因幡守宗資が本所(横綱1丁目)に3千余坪の屋敷地を拝領(旧・安田庭園の地)               | 10月深川富岡八幡宮の鐘が鑄造     | 5代／徳川綱吉 |
| 1692年 | 元禄5年  | 壬申 | 9月本所鐘楼銭の徴収を始める。   | 11月質屋総代を設ける(市中質屋登録) | 5代／徳川綱吉 |
| 1693年 | 元禄6年  | 癸酉 | 7月 水戸邸の本所小梅村移転(新大橋創架の為)。12月新大橋架橋。                       | 8月本所奉行、再度任命         | 5代／徳川綱吉 |
| 1694年 | 元禄7年  | 甲戌 | 8月8日 隅田川出水、新大橋も被害を受ける。                                  | 10月松尾芭蕉(51)卒        | 5代／徳川綱吉 |
| 1695年 | 元禄8年  | 乙亥 | 火事:2月8日-四谷伝馬町から出火、芝浦海岸に及ぶ。綾瀬川改修。                        | 6月四谷に犬小屋完成          | 5代／徳川綱吉 |
| 1696年 | 元禄9年  | 丙子 | 9月両国橋改架完成。12月千川上水完成。                                    | 6月大地震               | 5代／徳川綱吉 |
| 1697年 | 元禄10年 | 丁丑 | 2月町人が願い出て永代浦干潟を開発(後の木場) 10月12鎌倉大地震。                     | 7月元禄の地方直し           | 5代／徳川綱吉 |
| 1698年 | 元禄11年 | 戊寅 | 永代橋完成、8月1日開通。 <b>中堂火事・勅額火事</b> :9月6日-南鍋町数寄屋河岸から出火の大震災。  | 11月内藤新宿開設           | 5代／徳川綱吉 |
| 1699年 | 元禄12年 | 己卯 | 2月米蔵を谷の蔵から築地海岸に移転。幕府材木蔵を猿江に移転。                          | コロリがはやる             | 5代／徳川綱吉 |
| 1700年 | 元禄13年 | 庚辰 | 2月深川永代島6万坪埋立て成り、深川佐賀町の材木問屋が移転し、木場の名がおこる。                | 8月浅草溜設置(無宿人ほど収容)    | 5代／徳川綱吉 |
| 1701年 | 元禄14年 | 辛巳 | 材木置場が猿江から深川9万坪に移転(後の木場)。                                | 3月播州赤穂藩主浅野長矩が切腹     | 5代／徳川綱吉 |
| 1702年 | 元禄15年 | 壬午 | 12月赤穂浪士が本所松坂町の吉良邸を襲撃して義央を討ち取る。                          | 10月柳沢吉保、駒込に六義園完成    | 5代／徳川綱吉 |
| 1703年 | 元禄16年 | 癸未 | <b>水戸様火事</b> :11月29日-小石川の水戸藩邸から出火、永代橋焼失・中村座・市村座も類焼。     | 俳諧の冠付が始まる           | 5代／徳川綱吉 |
| 1704年 | 宝永1年  | 甲申 | 7月5日利根川決壊、本所・深川浸水、永代・両国橋損壊で死者多数。利根川、荒川の治水工事着手。          | 2月市川団十郎が生島半六に殺傷     | 5代／徳川綱吉 |
| 1705年 | 宝永2年  | 乙酉 | 3月18日竹長の渡船転覆、死者40余人。 6月3日市中での花火打ち上げ禁止令                  | 4月お蔭参りが流行           | 5代／徳川綱吉 |
| 1706年 | 宝永3年  | 丙戌 | 火事:1月14日-神田から出火、日本橋堺町まで延焼、中村座など焼失。8月4日墨田川の屋形船100艘に限定。   | 9月地震                | 5代／徳川綱吉 |
| 1707年 | 宝永4年  | 丁亥 | <b>宝永の大噴火</b> :11月20日富士山が噴火し、江戸市中に灰が雪のように降り積もる。9月浜御殿築造。 | 10月江戸で大地震           | 5代／徳川綱吉 |
| 1708年 | 宝永5年  | 戊子 | 3月18日八王子千千人同心が困窮のため、江戸防火任務を解任。                          | 8月疱瘡や赤痢が流行          | 5代／徳川綱吉 |
| 1709年 | 宝永6年  | 己丑 | 9月将軍家宣、浜御殿で諸艦船の訓練を観る。                                   | 1月生類憐れみの令廃止         | 6代／徳川家宣 |
| 1710年 | 宝永7年  | 庚寅 | 10月両国橋修理で通行止、その間渡船。12月両国橋改修工事完了。                        | 5月大木戸が札の辻から高輪に移転    | 6代／徳川家宣 |
| 1711年 | 正徳1年  | 辛卯 | 火事:12月11日-神田連雀町町から出火、日本橋も半焼。深川越中島が町(越中島町)になる。           | 3月辻駕籠が600挺に制限       | 6代／徳川家宣 |
| 1712年 | 正徳2年  | 壬辰 | 火事:2月8日-浅草浅草寺から出火、本所の大半焼失。2月23日-新材木町から出火、箱崎町・大川端焼失。     | 「目明し」の使用禁止          | 7代／徳川家継 |

|       |       |    |  |                    |         |
|-------|-------|----|--|--------------------|---------|
| 1713年 | 正徳3年  | 癸巳 | 5月江戸近郊の市街地が町奉行支配になる。12月22日下谷茅町から出火-深川に飛び火、洲崎まで延焼。      | 江戸の町数933町          | 7代/徳川家継 |
| 1714年 | 正徳4年  | 甲午 | 1月利根川・荒川改修工事。9月浅草に鑄銭場を設ける。                             | 3月江島生鳥事件           | 7代/徳川家継 |
| 1715年 | 正徳5年  | 乙未 | 12月11日南八丁掘・深川の漁民と大森・花田郷漁民と獵場紛争で訴訟。                     | 10月浅草春海(77)卒       | 7代/徳川家継 |
| 1716年 | 享保1年  | 丙申 | 火事:1月1日-麴町大名小路から出火-木挽町迄延焼。10月浅草鑄銭場を廃止。                 | 7月疫病大流行。           | 8代/徳川吉宗 |
| 1717年 | 享保2年  | 丁酉 | 火事:1月22日-小石川馬場から出火、日本橋・京橋を焼き鉄砲洲・八丁堀一帯を延焼。隅田堤に桜を植樹。     | 2月大岡忠助:町奉行に任命      | 8代/徳川吉宗 |
| 1718年 | 享保3年  | 戊戌 | 2月12日中川へのゴミ投棄禁止 火事:12月11日-上野から出火、本所へ飛び火。               | 12月町火消の組合設置        | 8代/徳川吉宗 |
| 1719年 | 享保4年  | 己亥 | 8月永代橋架橋完成。9月新大橋架橋完成。10月葛西新用水完成。                        | 5月浅草寺本堂の修復が開始。     | 8代/徳川吉宗 |
| 1720年 | 享保5年  | 庚子 | 6月両国橋改橋のため渡船になる。町火消し組合が改正、「いろは」48組となり、纏幟の制度が設けられる。     | 9月飛鳥山に桜の苗木を植える     | 8代/徳川吉宗 |
| 1721年 | 享保6年  | 辛丑 | 火事:1月8日-日本橋呉服町から出火、八丁堀・鉄砲洲に延焼。2月佃漁民に千住大橋~上豊島間の漁獵許可     | 7月評定所に目安箱設置        | 8代/徳川吉宗 |
| 1722年 | 享保7年  | 壬寅 | 3月11日火事見廻りが初めて設置。9月本所・千川・青山・三田各上水を廃止。深川門前町が賑わう。        | 6月手習師匠の氏名・弟子数を調査   | 8代/徳川吉宗 |
| 1723年 | 享保8年  | 癸卯 | 6月墨田川筋の両国橋から永代橋西岸は3ヶ年以内に塗り土蔵造に改造すべき触れを出す。              | 8月火の見櫓の設置義務化       | 8代/徳川吉宗 |
| 1724年 | 享保9年  | 甲辰 | 火事:1月30日-京橋加賀町から出火、芝口門、浜御殿一部炎上。2月15日-浅草本願寺から出火、本所へ飛び火。 | 2月物価引下令が発令         | 8代/徳川吉宗 |
| 1725年 | 享保10年 | 乙巳 | 猿江材木蔵跡入掘が埋立で、今後塵芥は6万坪(豊住付近)へ捨てる触れ出し。                   | 芝居茶屋がで始める          | 8代/徳川吉宗 |
| 1726年 | 享保11年 | 丙午 | 5月深川町民による永代橋の橋銭徴収の願いを許可。                               | 12月辻駕籠数の制限撤廃       | 8代/徳川吉宗 |
| 1727年 | 享保12年 | 丁未 | 1月永代橋改架。9月2日前月以来の風雨のため関東緒川」が氾濫。                        |                    | 8代/徳川吉宗 |
| 1728年 | 享保13年 | 戊申 | 9月3日江戸で大風雨で洪水-諸橋落失、小石川辺二階まで浸水。10月両国橋仮橋架かる。             | 12月神田川の水捌け改善工事     | 8代/徳川吉宗 |
| 1729年 | 享保14年 | 己酉 | 火事:2月15日-浅草聖天町から出火、本所石原、吉田町まで延焼。3月両国橋、新大橋修復工事完了。       | 隅田川と利根川の分離工事施行     | 8代/徳川吉宗 |
| 1730年 | 享保15年 | 庚戌 | 1月豎川沿岸住民に豎川の浚渫を命じる。塵芥捨場を永代神田から越中島に移す触れ出し。              | 6月両国橋修理工事          | 8代/徳川吉宗 |
| 1731年 | 享保16年 | 辛亥 | 火事:4月15日-目白台より出火、浜御殿付近まで延焼。北足立郡(埼玉県)の見沼通船掘が開通。         | 6月富士講行者が富士山頂で入定    | 8代/徳川吉宗 |
| 1732年 | 享保17年 | 壬子 | 火事:3月28日-浅草・巢鴨より出火、本所・深川に飛び火。8月両国橋・新大橋以外の橋修復・改架は入札制。   | 全国的飢饉で疫病流行         | 8代/徳川吉宗 |
| 1733年 | 享保18年 | 癸丑 | 1月25日江戸市内に米騒動。2月江戸廻米の禁を解き、新麦の江戸回送を命じる。                 | 1月享保の打壊            | 8代/徳川吉宗 |
| 1734年 | 享保19年 | 甲寅 | 5月町内埋没の旧本所上水樋を掘り出す出願を許可。6月17日大雨で両国橋仮橋が流出。              | 9月上水組合年番定める        | 8代/徳川吉宗 |
| 1735年 | 享保20年 | 乙卯 | 3月千住掃部宿に市場開設、五穀特に玄米を扱う。                                | 本郷三丁目東門に「かねやす」開店   | 8代/徳川吉宗 |
| 1736年 | 元文1年  | 丙辰 | 8月23日永代橋の橋銭徴収を再度許可。                                    | 6月銭不足で蓄銭禁止         | 8代/徳川吉宗 |
| 1737年 | 元文2年  | 丁巳 | 2月本所小梅村で寛永通宝銭の鑄造を始める。11月吉宗、深川亀高村(北砂4丁目)で鷹狩を行う。         | 6月物価高の為地代・店賃3割値上許可 | 8代/徳川吉宗 |
| 1738年 | 元文3年  | 戊午 | 火事:12月29日-浅草草原町から出火、駒形堂とその近辺を焼き、本所へ飛び火。                | 呉服太物商「大丸屋」日本橋に開店   | 8代/徳川吉宗 |
| 1739年 | 元文4年  | 己未 | 火事:1月19日-佃島で殆んど全戸焼失、漁具購入のため金五百両拝借を許可。6月本所押上村で鑄銭。       | 7月玉川上水請負人、不正で罰せられる | 8代/徳川吉宗 |
| 1740年 | 元文5年  | 庚申 | 3月伝奏・大納言冷泉為久が幕府の招待で隅田川遊覧。                              | 3月市中の畳屋・畳刺の人別調査    | 8代/徳川吉宗 |
| 1741年 | 寛保1年  | 辛酉 | 1月21日強風時の町方役人の見回り区域を江東方面に広げる。                          |                    | 8代/徳川吉宗 |
| 1742年 | 寛保2年  | 壬戌 | 江戸期最大の水害。8月1~8日両国橋杭流失、新大橋・永代橋損じる。                      | 5月両国橋渡舟往来人数調査      | 8代/徳川吉宗 |
| 1743年 | 寛保3年  | 癸亥 | 1月1日両国橋改架工事の参考として千住大橋の構造調査 3月新大橋修理。                    | 7月芝浜松町で草市が始まる      | 8代/徳川吉宗 |
| 1744年 | 延享1年  | 甲子 | 5月両国橋改架工事・竣工。8月19日江戸湾に津波発生。                            | 12月米売買取締で米屋組合を組織   | 8代/徳川吉宗 |
| 1745年 | 延享2年  | 乙丑 | <b>六道の火事</b> :2月12日-青山六道辻から出火、焼失家屋2万8千軒。               |                    | 9代/徳川家重 |
| 1746年 | 延享3年  | 丙寅 | <b>坪内火事</b> :2月28日-築地坪内権左衛門邸から出火、中村座・市村座を焼き小塚原で鎮火。     | 12月神田佐久間町に天文台を建てる  | 9代/徳川家重 |
| 1747年 | 延享4年  | 丁卯 | 4月川舟支配の職名を川舟改役とし、勘定の上席とする。                             | このころ、大阪の義太夫節流行     | 9代/徳川家重 |
| 1748年 | 寛延1年  | 戊辰 | 2月20日本所・深川の地が江戸弘刑の地域になる。                               | 4月上野不忍池改修、新町誕生     | 9代/徳川家重 |
| 1749年 | 寛延2年  | 己巳 | 8月13日 江戸川・神田川の下流の出水激しく、架かった橋の殆どが流失。                    | 8月神田上水引用者組合設置      | 9代/徳川家重 |
| 1750年 | 寛延3年  | 庚午 | 4月大風・雹ふる、本所辺に竜巻。12月大吹雪、積雪3尺余。                          | 宗十郎頭巾が流行           | 9代/徳川家重 |
| 1751年 | 宝歴1年  | 辛未 | 4月23日雹・大風により本所あたりに竜巻発生、家屋倒壊・死傷者でる。5月3日山王祭の華美禁止。        | 6月徳川吉宗(68)卒        | 9代/徳川家重 |
| 1752年 | 宝歴2年  | 壬申 | 8月12日本所の船持が自費で隅田川豎川入り口から一之橋までの浚渫をおこなう。                 | 12月加賀騒動            | 9代/徳川家重 |
| 1753年 | 宝歴3年  | 癸酉 | 4月27日本所柳原6丁目(江東橋2丁目)豎川沿いに將軍の船着場を造る。                    | 1月中村座で「京鹿子娘道成寺」初演  | 9代/徳川家重 |
| 1754年 | 宝歴4年  | 甲戌 | 9月隅田村御前裁畑の作付品種が豊富となる。                                  | 10月貞亨暦廃止、宝暦甲戌暦採用   | 9代/徳川家重 |

|       |       |    |  |                      |          |
|-------|-------|----|--|----------------------|----------|
| 1755年 | 宝歴5年  | 乙亥 | 2月28日防火用天水桶・水溜桶を各町で用意の触れ 12月両国橋修復。                           |                      | 9代／徳川家重  |
| 1756年 | 宝歴6年  | 丙子 | <b>大学火事</b> :11月23日-麴町八代洲河岸・林大学頭邸から出火。                       | 6月米価高騰の生活苦を訴え奉行所参集   | 9代／徳川家重  |
| 1757年 | 宝歴7年  | 丁丑 | 5月～7月 関東長雨、江東方面出水。   | 9月田村藍水が湯島で物産会を催す     | 9代／徳川家重  |
| 1758年 | 宝歴8年  | 戊寅 | 3月佃島住吉神社大破で廻船は江戸入津際、大船は米1升・小船は米5合奉納(3ヶ年)。                    |                      | 9代／徳川家重  |
| 1759年 | 宝歴9年  | 己卯 | 6月両国橋改修中の渡舟による往來人数の調査実施(明け六つより暮れ六つまで2万261名)。                 |                      | 9代／徳川家重  |
| 1760年 | 宝歴10年 | 庚辰 | <b>神田火事</b> :2月6日神田旅籠町から出火、永代橋・新大橋を焼失。                       | 日本橋新和泉町玉鉄(現玉ひで)開店    | 10代／徳川家治 |
| 1761年 | 宝歴11年 | 辛巳 | 火事:6月-堺町の芝居小屋から出火、芝居街は全焼・乗物長町・新材木町河岸まで焼失。                    |                      | 10代／徳川家治 |
| 1762年 | 宝歴12年 | 壬午 | 4月平賀源内が湯島で物産会開催。   | 4神田祭りを翌年延期の触れ        | 10代／徳川家治 |
| 1763年 | 宝歴13年 | 癸未 | 6月歌舞伎女形二代目荻野八重桐の隅田川溺死事故。                                     | 11月神田紺屋町に朝鮮人参座設置     | 10代／徳川家治 |
| 1764年 | 明和1年  | 甲申 | 8月7日千住など宿場の飯盛女の増員が許可。12月25日各町火消組に、防火用具の竜吐水支給。                | 日本橋小網町に海苔の「山形屋」開業    | 10代／徳川家治 |
| 1765年 | 明和2年  | 乙酉 | 6月平井満右衛門らが洲崎の東に汐除土手を築き25万坪余の土地(平井新田)を開く。                     | 鈴木春信が始めて錦絵を創作        | 10代／徳川家治 |
| 1766年 | 明和3年  | 丙戌 | 6月29日連日豪雨、隅田川増水で千住大橋流失。                                      | 1月長柄傘の使用禁止           | 10代／徳川家治 |
| 1767年 | 明和4年  | 丁亥 | 火事:4月9日-八丁堀から出火、日本橋・京橋まで延焼。                                  | 狂歌が流行し始める            | 10代／徳川家治 |
| 1768年 | 明和5年  | 戊子 | 火事:4月6日-新吉原大火、仮宅営業許可。9月5日上水管理が町奉行から普請奉行に移管。                  | 町人の間で尺八人気が高まる        | 10代／徳川家治 |
| 1769年 | 明和6年  | 己丑 | 火事:2月23日-本所一ツ目から出火。3月4日佃島の渡船転覆、死者30余人。                       | 11月上水請負人・見廻り役廃止      | 10代／徳川家治 |
| 1770年 | 明和7年  | 庚寅 | 5月去年の佃島渡船転覆事故の責任者処分申し渡し(船頭長十郎・遠島など)。                         | 9月米価高騰で粥食奨励          | 10代／徳川家治 |
| 1771年 | 明和8年  | 辛卯 | 3月4日小塚原刑場で刑死人の解剖実施。6月16日大川端三俣の洲埋立て市街を造成(9千坪)、富永町と命名。         | 「江戸っ子」がこの年の川柳に初登場    | 10代／徳川家治 |
| 1772年 | 安永1年  | 壬辰 | <b>行人坂の大火(江戸三大火災)</b> :2月29日-目黒行人坂の大円寺から出火、死者1万4700人、934町延焼。 | 12月神田白堀渡橋下水組合設置      | 10代／徳川家治 |
| 1773年 | 安永2年  | 癸巳 | 1月12日深川万年町銀吹替所が竣工、銀貨鑄造を始める。                                  | 前年から春にかけ疫病流行(死者16万人) | 10代／徳川家治 |
| 1774年 | 安永3年  | 甲午 | 10月17日隅田川に吾妻橋(大川橋)が架けられる。                                    | 投扇が流行                | 10代／徳川家治 |
| 1775年 | 安永4年  | 乙未 | 5月両国橋改架工事が竣工。  | 恋川春町「金々先生栄花夢」(黄表紙の始) | 10代／徳川家治 |
| 1776年 | 安永5年  | 丙申 | 7月浅草首尾の松、2度目の植替。12月26日町人の宗門人別改帳を寺社奉行から町奉行が集める。               | 11月平賀源内がエレキテルを完成     | 10代／徳川家治 |
| 1777年 | 安永6年  | 丁酉 | 9月両国の見世物小屋からオオカミ脱走、あたりを騒がす。                                  | 恋川春町の画作が大流行          | 10代／徳川家治 |
| 1778年 | 安永7年  | 戊戌 | 2月12日-日本橋石町から出火、霊岸島・深川に飛び火、佃島ほぼ全焼。                           | 7月伊豆大島三原山が噴火         | 10代／徳川家治 |
| 1779年 | 安永8年  | 己亥 | 3月伊豆大島三原山で大噴火、爆音が江戸中に響く。                                     | 10月桜島の火山灰が江戸に降る      | 10代／徳川家治 |
| 1780年 | 安永9年  | 庚子 | 6月29日 月初から連日降雨、各河川増水し両国・永代・新大橋破損。                            | 十八大通が現れる             | 10代／徳川家治 |
| 1781年 | 天明1年  | 辛丑 | 7月11大風雨で隅田川出水、千住大橋・新大橋・永代橋・大川橋(吾妻橋)破損                        | 11月本所回向院大相撲が大繁盛      | 10代／徳川家治 |
| 1782年 | 天明2年  | 壬寅 | 8月21日風雨、両国橋水溢れる。浅草田圃の酉の市、この頃から流行る。                           | 8月千川上水竣工             | 10代／徳川家治 |
| 1783年 | 天明3年  | 癸卯 | 7月6日浅間山大噴火、江戸に灰がふる。火事:12月-浅草鳥越から出火、本所横網町に飛火・深川平野延焼。          | 9月蔦谷重三郎が日本橋に進出       | 10代／徳川家治 |
| 1784年 | 天明4年  | 甲辰 | 4月救済のため日本橋土手蔵・深川佐賀町・浅草の町蔵で米を廉売。千住大橋現在の位置に架橋(3度目)。            | 2月武州一揆(多摩郡農民が蜂起)     | 10代／徳川家治 |
| 1785年 | 天明5年  | 乙巳 | 10月関東各河川の通航の極印改めを強化。   | 夏～秋 日照りのため凶作         | 10代／徳川家治 |
| 1786年 | 天明6年  | 丙午 | 7月12日～18日まで連続豪雨で大洪水、下谷・本所で大被害、寛保以来の大水害。                      | 諸国で飢饉発生              | 11代／徳川家斉 |
| 1787年 | 天明7年  | 丁未 | 5月20日 市中に米騒動(打ち毀し)おこり、関東郡代伊奈忠尊に飢民救済を命じる。                     | 3月 天明の大飢饉            | 11代／徳川家斉 |
| 1788年 | 天明8年  | 戊申 | 12月江戸市内(朱引地)を東～本所・深川、西～四谷大木戸、南～品川、北～板橋・千住と定める。               | 10月長谷川平蔵:火付盗賊改に任命    | 11代／徳川家斉 |
| 1789年 | 寛政1年  | 己酉 | 10月17日中洲新地取り払い、元の水面とする。                                      | 11月谷川と小野川に横綱の免許される   | 11代／徳川家斉 |
| 1790年 | 寛政2年  | 庚戌 | 8・9月約1ヶ月を隔てた風水災、どちらも津波発生。10月永代橋改架工事(12月竣工)                   | 5月出版統制が一段と厳しくなる      | 11代／徳川家斉 |
| 1791年 | 寛政3年  | 辛亥 | 8月6～8日 暴風雨・津波。 9月4日暴風雨。                                      | 3月山東京伝:禁令に触れ手鎖50日の刑  | 11代／徳川家斉 |
| 1792年 | 寛政4年  | 壬子 | 2月糶倉を浅草向柳原に設ける。5月21日町会所で窮民の救済開始。                             | 四谷大木戸廃止              | 11代／徳川家斉 |
| 1793年 | 寛政5年  | 癸丑 | 火事:10月25日-湯島より出火、日本橋まで延焼。12月千住大橋改架工事竣工。                      | 7月松平定信罷免             | 11代／徳川家斉 |
| 1794年 | 寛政6年  | 甲寅 | <b>桜田火事</b> :1月10日-麴町から芝新銭座町までを焼く大火。本所三之橋が釣橋となる。             | 5月蔦谷重三郎が写楽の役者絵を刊行    | 11代／徳川家斉 |
| 1795年 | 寛政7年  | 乙卯 | 6月15日大雷雨発生で芝増上寺境内など26ヶ所に落雷。                                  | 岡場所50余ヶ所を取り潰す。       | 11代／徳川家斉 |
| 1796年 | 寛政8年  | 丙辰 | 2月1日鉄砲洲十軒町に伊豆諸島産物交易会所(約600坪)設置。                              | 12月琉球使節が登城           | 11代／徳川家斉 |



|       |       |    |  |                     |          |
|-------|-------|----|--|---------------------|----------|
| 1797年 | 寛政9年  | 丁巳 | 4月両国橋改架工事竣工。火事:11月22日神田佐久間町から出火、木場まで延焼。                  | 11月宝暦甲戌暦廃止、寛政暦を使用   | 11代/徳川家斉 |
| 1798年 | 寛政10年 | 戊午 | 森川新大橋際その他隅田川沿岸に靱倉を建て不時の災害に備える。                           | 6月岡本万作が神田で常設寄席をつくる  | 11代/徳川家斉 |
| 1799年 | 寛政11年 | 己未 | 3月1日霊岸島に蝦夷地物産会所設置。12月中之郷・天祥寺境内で掘抜井戸工事で十数尋で清泉湧出。          | 7月千社札を張り歩くこと禁止      | 11代/徳川家斉 |
| 1800年 | 寛政12年 | 庚申 | 6月25日銀座が京橋新両替町から日本橋蠣殻町へ移転を命じられる。                         | 葛飾北斎「東都名所一覽」刊行。     | 11代/徳川家斉 |
| 1801年 | 享和1年  | 辛酉 | 3月勘定奉行中川忠英に命じ本所筋の川浚と道造に当たらせる。4月浅草・本所御米蔵増設。               | 浅草に越後屋(現(駒形どぜう))開店  | 11代/徳川家斉 |
| 1802年 | 享和2年  | 壬戌 | 5月銭瓶橋際の神田上水吐水汲渡世人数と船数を調査し鑑札再発行。6月25日からの雨天で隅田川・荒川出水。      | 十返舎一九「東海道中膝栗毛」開始    | 11代/徳川家斉 |
| 1803年 | 享和3年  | 癸亥 | 3月4日 暮六つ時過ぎ大地震 発生 8月柳原堤の際に靱蔵を建てる。                        | 煎茶の会が流行する           | 11代/徳川家斉 |
| 1804年 | 文化1年  | 甲子 | 駒形どぜう・越後屋創業。本所中之郷北野屋平八、寺島村の武家屋敷の跡地を買い花園(後百花園)を開く。        | 5月喜多川歌麿:禁令で手鎖50日の刑  | 11代/徳川家斉 |
| 1805年 | 文化2年  | 乙丑 | 12月三之橋、改架して再び脚橋となる。                                      | 2月芝神明社で相撲取と火消しの喧嘩   | 11代/徳川家斉 |
| 1806年 | 文化3年  | 丙寅 | <b>丙寅火事(車町火事・牛町火事(江戸三大火災))</b> :3月4日-高輪泉岳寺門前牛町から出火した大火災。 | 投扇が流行               | 11代/徳川家斉 |
| 1807年 | 文化4年  | 丁卯 | 8月深川八幡祭礼時、永代橋崩落 440人水死。                                  | 葛飾北斎:「吾妻名所図会」なる。    | 11代/徳川家斉 |
| 1808年 | 文化5年  | 戊辰 | 3月小名木川・堅川・日本橋川の浚渫。                                       | 10月米価高騰で米穀払い下げを行う   | 11代/徳川家斉 |
| 1809年 | 文化6年  | 己巳 | 火事:1月1日-日本橋佐内町から出火、本所表町辺まで焼く。                            | 2月菱垣廻船問屋が三橋会所を設立    | 11代/徳川家斉 |
| 1810年 | 文化7年  | 庚午 | 3月千住大橋 改架なる。7月16日 暴風雨本所深川出水。                             | 38文均一の安売り店出現        | 11代/徳川家斉 |
| 1811年 | 文化8年  | 辛未 | 火事:2月11日市谷谷町から出火、麻布・芝まで延焼。7月家斉浜苑への途次隅田川で家臣の水馬訓練を観る。      | 12~19文の大安売りの店が多くできる | 11代/徳川家斉 |
| 1812年 | 文化9年  | 壬申 | 火事:11月21日-竜泉寺村から出火、吉原新町全焼、本所番場町まで焼く。                     | 11月大地震              | 11代/徳川家斉 |
| 1813年 | 文化10年 | 癸酉 | 火事:11月30日-日本橋高砂町から出火、葦屋町芝居小屋全焼、乗物町まで延焼。                  | 6月蕎麦を食と死ぬの俗説で蕎麦屋客無  | 11代/徳川家斉 |
| 1814年 | 文化11年 | 甲戌 | 1月11日大風禍。2月百花園に亀田鵬斎の「墨沓海壮記」碑、建つ。                         | 曲亭馬琴:「南総里見八犬伝」初編    | 11代/徳川家斉 |
| 1815年 | 文化12年 | 乙亥 | 4日光東照宮・家康の二百年忌法会用荷物運搬のため墨田・寺島村から人足66名、馬11頭千住宿へ動員。        | 10月千住で酒飲み比べが盛大に開催   | 11代/徳川家斉 |
| 1816年 | 文化13年 | 丙子 | 火事:5月3日吉原京町から出火、遊郭全焼。8月3~4日 大風雨、津波による洪水。                 | 4月疫病が流行、死者多数        | 11代/徳川家斉 |
| 1817年 | 文化14年 | 丁丑 | 火事:1月12日-新乗物町から出火、塚町・葦屋町の芝居街・人形町通りまで類焼。                  | 5月柳橋の万八楼で大食い大会開催    | 11代/徳川家斉 |
| 1818年 | 文政1年  | 戊寅 | 火事:10月17日-浅草隨身門前から出火、本所割下水から深川まで焼く。                      | 9月江戸の範囲の「江戸朱引図」作成   | 11代/徳川家斉 |
| 1819年 | 文政2年  | 己卯 | 火事:2月8日-京橋・新肴町から出火、銀座・尾張町・より築地に延焼。                       | 7月物価引下げ令出る          | 11代/徳川家斉 |
| 1820年 | 文政3年  | 庚辰 | 1月10日 深川洲崎土手外を薬草植付け所とする。10月 南千住・素盞雄神社境内に「芭蕉旅たちの碑」建立。     | 10月俳諧・諸芸などの会合開催を取締  | 11代/徳川家斉 |
| 1821年 | 文政4年  | 辛巳 | 8月 西両国広小路でオランダ渡来のペルシャ産ラクダ、見世物となる。                        | 伊能忠敬:「大日本沿海実測図」なる   | 11代/徳川家斉 |
| 1822年 | 文政5年  | 壬午 | 8月22日 大風雨、津波による洪水おこり深川木場辺出水。駒形うなぎ「前川」創業。                 | 十返舎一九「東海道中膝栗毛」完結    | 11代/徳川家斉 |
| 1823年 | 文政6年  | 癸未 | 8月17日 大風雨にて高汐押上、本所深川俄に出水床上まで押上る。12月両国橋修復工事成る。            | 4月大田南畝(75)卒         | 11代/徳川家斉 |
| 1824年 | 文政7年  | 甲申 | 火事:2月1日-神田三河町から出火。8月13日 連日暴風雨、隅田川増水、永代橋破損。12月永代橋改架工事。    | 中川芳山堂「江戸買物独案内」刊行    | 11代/徳川家斉 |
| 1825年 | 文政8年  | 乙酉 | 火事:12月19日-葦屋町芝居小屋から出火、元坂町・人形町一帯類焼。大川橋(吾妻橋)改架工事。          | 2月異国船打払令            | 11代/徳川家斉 |
| 1826年 | 文政9年  | 丙戌 | 12月 本所一ツ目の水戸藩石置場(千歳1丁目)に米のせり市場再開。                        | 3月オランダ商館医シーボルトが江戸到着 | 11代/徳川家斉 |
| 1827年 | 文政10年 | 丁亥 | 火事:1月3日-葦屋町から出火、塚町・芝居街・芳町・人形町辺り類焼。                       | 7月婦人と医師以外日傘使用禁止     | 11代/徳川家斉 |
| 1828年 | 文政11年 | 戊子 | 7月2日 連日豪雨隅田川増水、両国橋小破。8月2日豪雨で新大橋破損。                       | 8月シーボルト事件           | 11代/徳川家斉 |
| 1829年 | 文政12年 | 己丑 | <b>己丑火事・佐久間町火事</b> :3月21日-神田佐久間町二丁目から出火、佃島へ飛び火。          | 深川佐賀町の船場屋の羊羹が名物     | 11代/徳川家斉 |
| 1830年 | 天保1年  | 庚寅 | 8月 前年の火災焼土で築地・南飯田町先の海面を埋め立てる(1216坪余)。                    | 浅草茅町二丁目に人形店「久月」開業   | 11代/徳川家斉 |
| 1831年 | 天保2年  | 辛卯 | 火事:12月23日-小伝馬町から出火、大伝馬町・新材木町・葦屋町に類焼。                     | 葛飾北斎:「富嶽三十六景」       | 11代/徳川家斉 |
| 1832年 | 天保3年  | 壬辰 | 向島長命寺境内に「長命水」の碑建立。                                       | 8月鼠小僧次郎吉(38)獄門      | 11代/徳川家斉 |
| 1833年 | 天保4年  | 癸巳 | 10月 両国回向院境内g江戸相撲の定場所となる(年2回小屋掛けで興行)                      | 歌川広重:「東海道五十三次」      | 11代/徳川家斉 |
| 1834年 | 天保5年  | 甲午 | <b>甲午火事</b> :2月7日-神田佐久間町から出火、中村座・市村座が類焼。                 | 葛飾北斎:「富嶽百景」         | 11代/徳川家斉 |
| 1835年 | 天保6年  | 乙未 | 7月1日 墨田川増水、漂流船により両国橋破損。                                  | 9月天保通宝が鑄造           | 11代/徳川家斉 |
| 1836年 | 天保7年  | 丙申 | 7月18日 連日豪雨、洪水海辺に津波。                                      | 斉藤月岑:「江戸名所図会」完成     | 11代/徳川家斉 |
| 1837年 | 天保8年  | 丁酉 | 2月築地南飯田町埋立地続き海手埋め立てる(968坪)。                              | 歌川広重:「江戸近郊八景」       | 12代/徳川家慶 |
| 1838年 | 天保9年  | 戊戌 | 6月16日 連日降雨隅田川増水で両国橋破損。                                   | 斉藤月岑:「東都歳時記」        | 12代/徳川家慶 |

|       |       |    |  |                       |          |
|-------|-------|----|--|-----------------------|----------|
| 1839年 | 天保10年 | 己亥 | 火事:3月2日-北本所から出火、小梅村へ飛び火向島寺島新田まで延焼。                     | 5月蛭社の獄(高野長英自首)        | 12代/徳川家慶 |
| 1840年 | 天保11年 | 庚子 | 6月22~25日 連日風雨で隅田川増水5尺、両国橋小破。                           | 3月遠山影元:町奉行に就任         | 12代/徳川家慶 |
| 1841年 | 天保12年 | 辛丑 | 江戸近辺の向島その他、田園を潰して下屋敷としたものは元の田園に復す触れ出し。                 | 5月天保の改革 10月渡辺華山(49)自刃 | 12代/徳川家慶 |
| 1842年 | 天保13年 | 壬寅 | 4月江戸三座芝居、浅草へ移転(猿若町起立)。                                 | 2月為永春水:禁令に触れ手鎖        | 12代/徳川家慶 |
| 1843年 | 天保14年 | 癸卯 | 9月2日 暴風雨で出水、両国橋破損。火事:12月27~8日-鍛冶橋から出火、京橋・築地など類焼。       | 9月水野忠邦が老中罷免           | 12代/徳川家慶 |
| 1844年 | 弘化1年  | 甲辰 | 3月 大川三侯中洲切通その他浚渫・埋立て工事終わる。                             | 12月寄席が自由化される          | 12代/徳川家慶 |
| 1845年 | 弘化2年  | 乙巳 | 青山火事:1月24日-青山権田原から出火、武家屋敷400、町屋126町を焼き死者多数をだす。         | 1個8文の稻荷鮓が流行           | 12代/徳川家慶 |
| 1846年 | 弘化3年  | 丙午 | 6月中旬以降、連日の豪雨で各河川増水、江戸内外を一面の泥海。                         | 3月高野長英が脱獄             | 12代/徳川家慶 |
| 1847年 | 弘化4年  | 丁未 | 4月 両国橋修復工事成る。11月本所御米蔵3棟を増築。                            | 2月寄席の取り締まり強化          | 12代/徳川家慶 |
| 1848年 | 嘉永1年  | 戊申 | 2月 両国橋・大川橋小修理行う。                                       | 品川に砲台が築かれる            | 12代/徳川家慶 |
| 1849年 | 嘉永2年  | 己酉 | 3月 新大橋改架工事成る。火事:8月24日 神田松枝町から出火。                       | 4月葛飾北斎(90)卒           | 12代/徳川家慶 |
| 1850年 | 嘉永3年  | 庚戌 | 火事:4月15日-千住宿2丁目より出火、5丁目まで延焼。                           | 斉藤月岑:「武江年表」           | 12代/徳川家慶 |
| 1851年 | 嘉永4年  | 辛亥 | 火事:1月4日-京橋新肴町から出火、銀座・尾張町・三十間掘など類焼。                     | 2月力士が取組日数の不平を訴え籠城     | 12代/徳川家慶 |
| 1852年 | 嘉永5年  | 壬子 | 火事:1月4日-米沢町から出火、浅草までいた、雷門焼失。                           | 1月嚴重な火の元取締令が出される      | 12代/徳川家慶 |
| 1853年 | 嘉永6年  | 癸丑 | 9月品川沖に砲台(御台場)築造。                                       | 6月浦賀にペリー来航            | 13代/徳川家定 |
| 1854年 | 安政1年  | 甲寅 | 火事:11月5日-浅草聖天町から出火、飛び火して小梅村の水戸藩下屋敷類焼。                  | 11月畿内から江戸にかけて大地震      | 13代/徳川家定 |
| 1855年 | 安政2年  | 乙卯 | 火事:3月1日-小網町から出火。安政の大地震:10月2日大地震発生。死者3895人、倒壊家屋1万4346戸。 | 10月鯨絵が大流行             | 13代/徳川家定 |
| 1856年 | 安政3年  | 丙辰 | 8月25日 近來稀なる大風雨で前年の地震被害を免れた家屋が今回倒壊・流失。                  | 3月築地に官立の講武所完成         | 13代/徳川家定 |
| 1857年 | 安政4年  | 丁巳 | 5月築地講武所内に軍艦教授所を置く。1014日ハリスが入府、見物人殺到                    | 歌川広重:「名所江戸百景」刊行       | 13代/徳川家定 |
| 1858年 | 安政5年  | 戊午 | 火事:2月10日-安針町と長浜町の境から出火、飛び火して佃島まで延焼。                    | 9月歌川広重(62)卒           | 14代/徳川家茂 |
| 1859年 | 安政6年  | 己未 | 1月英人が浅草・向島辺へ遊行の町触が沿道に出る。2月 大川橋開架工事着手(12月竣工)。           | 10月安政大獄 この頃寺子屋開設増加    | 14代/徳川家茂 |
| 1860年 | 万延1年  | 庚申 | 火事:1月23日-南茅場町より出火、霊岸島町・塩町・四日市町など類焼。                    | 3月桜田門外の変              | 14代/徳川家茂 |
| 1861年 | 文久1年  | 辛酉 | 2月永代橋・新大橋・両国橋・大川橋の際に番所を置く。                             | 5月英国大使館(高輪)を水戸浪士が襲撃   | 14代/徳川家茂 |
| 1862年 | 文久2年  | 壬戌 | 火事:2月19日-江戸橋から出火、万町・常盤町・本材木町1~8丁目まで類焼。                 | 1月老中安藤信正を水戸浪士が襲撃      | 14代/徳川家茂 |
| 1863年 | 文久3年  | 癸亥 | 4月 西両国で牝像を見世物とする。この頃、浪士徘徊し辻斬り横行。                       | 11月夜間、提灯なしの通行禁止       | 14代/徳川家茂 |
| 1864年 | 元治1年  | 甲子 | 火事:3月14日-瀬戸物町・室町から出火。11月越中島松平屋敷(1万5370坪余)を陸軍奉行方へ引渡。    | 7月桜田の長州藩邸を取上・打毀       | 14代/徳川家茂 |
| 1865年 | 慶応1年  | 乙丑 | 火事:12月12日-浅草草原町から出火、本所・深川猿江に飛び火。                       | 7月海軍奉行が設置される          | 14代/徳川家茂 |
| 1866年 | 慶応2年  | 丙寅 | 5月 石川造船所で日本人設計の蒸気軍艦建造。11月9日神田より出火、八丁堀から飛び火し佃島延焼。       | 福沢諭吉:「西洋事情」初編         | 15代/徳川慶喜 |
| 1867年 | 慶応3年  | 丁卯 | 火事:1月7日-橋場総泉寺より出火、牛島に飛び火小梅村類焼。12月三田薩摩藩邸焼打。             | 10月大政奉還 江戸幕府崩壊        | 15代/徳川慶喜 |
| 1868年 | 明治1年  | 戊辰 | 4月11日江戸城開城 5月官軍が柳橋を撤去。5月15日上野戦争、東叡山寛永寺炎上1日で勝敗決す。       | 7月「江戸」を「東京」と改称 9月8日改元 |          |
| 1869年 | 明治2年  | 己巳 | 5月中川船番所が廃止。6月浅草天文台屋敷撤去。12月築地運上所内に傳信機役所開設(日本初の電信局)。     | 2月東京を朱引内と朱引外に分ける      |          |
| 1870年 | 明治3年  | 庚午 | 火事:12月16日-神田元岩井町から出火。12月両国橋・浅草観音など市内11ヶ所に「書状郵便所」を設置。   | 4月玉川上水の羽村~内藤新宿間通船     |          |
| 1871年 | 明治4年  | 辛未 | 2月 深川万年橋際に利根川汽船会社が開業、川蒸気船で深川~中田(栗橋対岸)まで80km運航開始。       | 3月芝三田に慶応義塾が移転         |          |
| 1872年 | 明治5年  | 壬申 | 12月3日 太陽暦採用で明治6年元日とする。9月鉄道開通式 天皇臨幸のもと「新橋鉄道館」で挙行。       | 2月「東京日日新聞」創刊(現毎日新聞)   |          |
| 1873年 | 明治6年  | 癸酉 | 5月5日皇居炎上、赤坂離宮を仮皇居。5月日本橋(木橋)改架竣工。7月大川花火復活。              | 3月天皇が断髪               |          |
| 1874年 | 明治7年  | 甲戌 | 1月浅草橋改架工事成り石造眼鏡橋となる。9月厩橋創架工事成り翌月開通式。                   | 1月八重洲二丁目に東京警視庁設置      |          |
| 1875年 | 明治8年  | 乙亥 | 3月源森橋を枕橋と改称。京橋改架(石橋)。5月江戸橋改架(石橋)。12月両国橋改架。             | 1月守田座が新富座に改称          |          |
| 1876年 | 明治9年  | 丙子 | 火事:11月29日 1月回向院の大相撲、二場所制(春・五月場所)決定。2月大川橋改架工事着手。        | 5月上野公園が開園             |          |
| 1877年 | 明治10年 | 丁丑 | 1月明石町に「海岸女学校」創立(青山学院の前身)。9月築地居留地に「東京一致神学校」創立(明治学院の前身)  | 8月上野公園第一回内国勸業博覧会開催    |          |
| 1878年 | 明治11年 | 戊寅 | 6月本所仲ノ郷番場河岸に海軍兵学校水泳伝習所設置。10月竹橋事件陸軍兵士53名深川越中島で処刑。       | 5月紀尾井町で大久保利通(49)刺殺    |          |
| 1879年 | 明治12年 | 己卯 | 火事:12月26日 2月南千住に「千住製絨所」設立。10月東京霊岸島新湊町~浦賀間の汽船が運航開始。     | 1月玉川上水・神田上水の実測図完成     |          |
| 1880年 | 明治13年 | 庚辰 | 6月永代橋西詰で「北海道開拓史東京出張所」開設。12月25日隅田川結水。                   | 8月京橋に専修学校(現専修大学)開校    |          |

|       |       |    |  |                      |
|-------|-------|----|--|----------------------|
| 1881年 | 明治14年 | 辛巳 | 火事:1月26日-明治最大の火事。1月佃島からの「白魚献上」の慣例復活(宮内省に納入)。         | 1月数寄屋橋に明治法律学校開校      |
| 1882年 | 明治15年 | 壬午 | 5月築地本願寺新本堂落慶。6月佃島と深川越中島間に渡船開通。10月亀島川々口の高橋竣工(市内初の釣橋)  | 10月東京専門学校(現早稲田大学)開校  |
| 1883年 | 明治16年 | 癸未 | 1月築地居留地37番に「立教大学校」「三一神学校」創立。6月天皇、向島へ行幸。7月4日隅田川出水。    | 3月上野博物館で奈良法隆寺献納品公開   |
| 1884年 | 明治17年 | 甲申 | 1月 浅草橋改架(鉄橋に成る) 9月15日夜半から16日にかけて暴風雨、本所、深川全域出水。       | 3月向ヶ丘貝塚より弥生式土器発見     |
| 1885年 | 明治18年 | 乙酉 | 4月新大橋改架工事完了(木橋)。7月2日上流部の豪雨により千住大橋が流失。9月厩橋修復工事完了。     | 5月浅草公園内に花屋敷が開園       |
| 1886年 | 明治19年 | 丙戌 | 2月東京府、「水船営業規則」を公布。7月コレラ流行。                           | 11月神田旅籠町に伊勢丹呉服店開店    |
| 1887年 | 明治20年 | 丁亥 | 火事12月19日 5月東京綿商社が隅田村鐘ヶ淵に紡績工場の建設を開始。12月吾妻橋改架。         | 銀座煉瓦街の街路樹が柳になる       |
| 1888年 | 明治21年 | 戊子 | 1月市村座新築開場。6月洲崎遊郭開業。7月築地の海軍兵学校が江田島へ移転。                | 7月大阪朝日新聞が「東京朝日新聞」発刊  |
| 1889年 | 明治22年 | 己丑 | 1月平野造船所が「有限責任石川島造船所」と改称。5月鐘ヶ淵紡績株式会社、隅田村で操業開始。        | 11月木挽町に歌舞伎座が開場       |
| 1890年 | 明治23年 | 庚寅 | 6月利根運河工事完成。11月浅草公園、「凌雲閣・十二階」開業。                      | 9月日本法律学校(現日本大学)開校    |
| 1891年 | 明治24年 | 辛卯 | 8月お茶の水溪谷に吊橋(鉄橋)架かる。                                  | 3月神田駿河台のニコライ堂が開堂式    |
| 1892年 | 明治25年 | 壬辰 | 7月東京市会、佃島地先の新埋立地を「月島」と命名。                            | 4月赤坂の福祿座など小劇場が開場     |
| 1893年 | 明治26年 | 癸巳 | 5月厩橋改架(鉄橋)工事間完成。佃島と月島を結ぶ「佃橋」竣工。神谷伝兵衛が中ノ郷瓦町に酒精工場建設。   | 11月日本橋に明治座が開場        |
| 1894年 | 明治27年 | 甲午 | 6月20日大地震。8月11日 暴風雨で隅田川堤防決壊、向島洲崎町浸水。                  | 8月対清国宣戦布告            |
| 1895年 | 明治28年 | 乙未 | 1月18日 地震本所区内家屋破損113ほか 6月コレラ流行。                       | 10月日本に広告取次店博報堂設立     |
| 1896年 | 明治29年 | 丙申 | 2月南新堀町1丁目10に「日本商船株式会社」設立。9月16日 暴風雨で中川六ツ木堰決壊。         | 11月樋口一葉(25)卒         |
| 1897年 | 明治30年 | 丁酉 | 8月両国川開きで両国橋欄干墜落。11月永代橋(鉄製トラス型 長100間・幅46尺)改架竣工。       | 1月尾崎紅葉「金色夜叉」読売新聞連載   |
| 1898年 | 明治31年 | 戊戌 | 6月5日暴風雨で江東一帯浸水 7月浅草橋改架工事成る。                          | 12月上野公園で西郷隆盛像の除幕式    |
| 1899年 | 明治32年 | 己亥 | 1月第1期水道工事完了、給水開始(江戸期以来の神田・玉川上水の廃止)。                  | 1月勝海舟(77)卒           |
| 1900年 | 明治33年 | 庚子 | 9月20日津波 洲崎弁天町被害。千住吾妻急行汽船会社設立、浅草吾妻橋～千住大橋間通称青蒸気を運航。    | 8月三遊亭円朝(62)卒         |
| 1901年 | 明治34年 | 辛丑 | 12月月島渡船が、東京市の運営となり汽船曳船無料化。                           | 2月福沢諭吉(68)卒          |
| 1902年 | 明治35年 | 壬寅 | 1月深川越中島に東京高等商船学校、校舎竣工で移転。8月10日連日豪雨で隅田川出水。            | 9月正岡子規(36)卒          |
| 1903年 | 明治36年 | 癸卯 | 3月相生橋架設により月島へ水道開通。浅草に「電気館」開場(常設映画館の始め)。              | 6月日比谷公園の開園式          |
| 1904年 | 明治37年 | 甲辰 | 3月浅草橋～雷門間に電車開通(鉄道馬車一掃)。9月新大橋改架竣工(鉄橋) 11月両国橋改架竣工(鉄橋)  | 3月日露戦争               |
| 1905年 | 明治38年 | 乙巳 | 1月日露戦役勝利記念の「かちどきの渡し」開業。6月市電、「両国橋東詰」～「緑町」開通。          | 9月日比谷でポーツマス講和反対国民大会  |
| 1906年 | 明治39年 | 丙午 | 8月24日暴風雨出水。12月 第一期隅田川口工事起工。                          | 3月東京市電値上げ反対市民大会開催    |
| 1907年 | 明治40年 | 丁未 | 8月22～26日 連日豪雨で荒川氾濫。12月本所区に天然痘発生。                     | 1月東京株式相場が暴落(日露戦後恐慌)  |
| 1908年 | 明治41年 | 戊申 | 2月隅田川で大鮫生り捕り。10月皇孫向島百花園に行啓。12月数寄屋橋際に有楽座開場(日本初椅子席劇場)。 | 11月日比谷図書館が開館         |
| 1909年 | 明治42年 | 己酉 | 6月両国大相撲常設館の「国技館」開場。                                  | 10月伊藤博文(69)卒         |
| 1910年 | 明治43年 | 庚戌 | 8月10日明治期最大の水災となり、抜本的な治水事業早期実現の端緒となる。                 | 12月南極探検の白瀬大尉芝浦を出港    |
| 1911年 | 明治44年 | 辛亥 | 浅草吉原の火事:4月9日-廊内各町を全焼し害は千住まで及ぶ。                       | 10月歌舞伎座、純日本様式改造工事竣工  |
| 1912年 | 大正1年  | 壬子 | 7月新大橋(鉄橋)改架工事竣工。11月京成電気軌道の押上～柴又～市川開通。                | 2月荒川堤の桜苗3000株を米国へ寄贈  |
| 1913年 | 大正2年  | 癸丑 | 2月市電、水天宮～菊川橋間開通(新大橋を渡る)。荒川放水路開削工事開始。                 | 8月神田に岩波書店が開業         |
| 1914年 | 大正3年  | 甲寅 | 5月白鬚橋(木製)創架。12月東京中央停車場開駅式挙(東京駅と命名)。                  | 12月東京駅が開業            |
| 1915年 | 大正4年  | 乙卯 | 7月木場銀行破綻で材木商42店倒産。                                   | 12月東京株式相場が暴騰(大戦景気始る) |
| 1916年 | 大正5年  | 丙辰 | 5月羽田に民間飛行学校設立(わが国最初)。8月本所病院開院。                       | 12月夏目漱石(50)卒         |
| 1917年 | 大正6年  | 丁巳 | 9月30日大暴風で死者・行方不明者1300名・倒壊・流失)4万3000戸。                | 11月両国国技館が全焼。         |
| 1918年 | 大正7年  | 戊午 | 4月 ゴミ処理、東京市営となる。 8月13日日比谷公園での集会が暴動化(米騒動)。            | 4月東京女子大学が開校          |
| 1919年 | 大正8年  | 己未 | 7月市電・京成押上駅～十間橋間開通。南葛飾・南足立・北豊島各郡で「江戸川上水町村組合」設立。       | 3月中央本線の東京～万世橋間が開業    |
| 1920年 | 大正9年  | 庚申 | 1月 両国国技館・新築開場。5月8日深夜の豪雨で本所・深川出水。                     | 3月東京株式取引所が株価暴落で休業    |
| 1921年 | 大正10年 | 辛酉 | 1月城東電車・亀戸町水神～大島町間開通。 8月深川越中島地先の埋立工事完了。               | 1月深川清澄町の庭園を岩崎家が開放    |
| 1922年 | 大正11年 | 壬戌 | 1月 砂町で運河開削工事開始。4月江戸川上水町村組合による上水道建設工事開始。              | 7月永代橋改架で仮橋工事開始       |



|       |       |    |  |                       |
|-------|-------|----|--|-----------------------|
| 1923年 | 大正12年 | 癸亥 | 3月三河島荒川沿岸に市立汚水処理場開設。9月1日関東大震災(死者・行方不明9万余人、全壊焼失46万戸)。       | 5月歌舞伎座竣工(9月1日大震災で消失)  |
| 1924年 | 大正13年 | 甲子 | 10月岩淵水門竣工、荒川放水路通水式挙行。東武鉄道・浅草(現・業平橋)～西新井間電化。                | 6月築地小劇場が開場            |
| 1925年 | 大正14年 | 乙丑 | 1月歌舞伎座復興開場。2月新橋演舞場開場。8月～9月南千住汐入・芝・品川でコレラ発生。                | 7月東京放送局芝愛宕山より本放送開始    |
| 1926年 | 昭和1年  | 丙寅 | 4月芝浦大棧橋竣工。8月江戸川上水組合、各町へ給水開始。11月相生橋竣工。                      | 1月千住火力発電所竣工。          |
| 1927年 | 昭和2年  | 丁卯 | 6月駒形橋架橋。9月深川越中島・佃島を結ぶ相生橋竣工。11月蔵前橋竣工。11月千住大橋竣工。             | 12月上野～浅草間地下鉄道開通。      |
| 1928年 | 昭和3年  | 戊辰 | 2月言問橋架橋。吾妻橋竣工。3月清洲橋架橋。4月京成電軌・向島～白鬚間開通。                     | 10月東京松竹楽劇部が設立(後SSK)   |
| 1929年 | 昭和4年  | 己巳 | 9月厩橋改架工事竣工。12月築地川にY字型の「三吉橋」竣工。                             | 5月正午の時報・午砲(ドン)廃止      |
| 1930年 | 昭和5年  | 庚午 | 5月荒川放水路完成。10月大根改修工事完成(33年目)。12月吾妻橋高橋式。                     | 3月「帝都復興祭」挙行。          |
| 1931年 | 昭和6年  | 辛未 | 3月「隅田公園」完成。6月白鬚橋改架竣工(鉄橋)。                                  | 10月両国橋駅を両国駅と改称        |
| 1932年 | 昭和7年  | 壬申 | 4月両国橋改架工事竣工。11月築地の聖路加病院竣工。                                 | 12月日本橋白木屋火災           |
| 1933年 | 昭和8年  | 癸酉 | 3月総武線・両国～市川間電化。5月築地～月島間の可動橋架設工事起工。                         | 12月築地中央卸市場竣工          |
| 1934年 | 昭和9年  | 甲戌 | 3月尾竹橋竣工。8月日本橋区に「両国町」起立。9月21日室戸台風・江東地区出水。                   | 5月東郷平八郎(88)卒          |
| 1935年 | 昭和10年 | 乙亥 | 4月隅田川改良工事竣工。10月江戸川上水道組合、東京市に移管。                            | 2月築地の東京市中央卸売市場完成      |
| 1936年 | 昭和11年 | 丙子 | 2月京成電軌・向島～白鬚線、収入減で廃止。9月26日豪雨で本所・深川1万戸浸水。                   | 2月皇道派青年将校らが拳兵(2.26事件) |
| 1937年 | 昭和12年 | 丁丑 | 3月「江東楽天地」が開場(汽船製造(株)跡地)。7月浅草に「国際劇場」開場(定員4059名)。            | 7月北京郊外で日中両軍が衝突        |
| 1938年 | 昭和13年 | 戊寅 | 7月両国川開き大花火、時局に鑑み中止(明治45年以来)27年目)。                          | 10月小倉のぶが百花園を東京市に寄付    |
| 1939年 | 昭和14年 | 己卯 | 1月大相撲春場所四日目・横綱双葉山、安芸ノ海に負ける(70連勝逸す)。                        | 4月羽田空港開場。             |
| 1940年 | 昭和15年 | 庚辰 | 6月墨田川に勝鬨橋(双葉跳開橋)が完成。市営バス・渋谷～月島間路線開通。                       | 8月東京府、食堂・料亭などの米食禁止    |
| 1941年 | 昭和16年 | 辛巳 | 旧安田庭園内の本所公会堂を両国公会堂と改称 5月東京港・開港                             | 12月大東亜戦争・宣戦           |
| 1942年 | 昭和17年 | 壬午 | 4月米軍機B-25 16機の本土初空襲、荒川・王子その他被害。                            | 5月与謝野晶子(65)卒          |
| 1943年 | 昭和18年 | 癸未 | 4月深川第10・8・7号埋立地に戦時練成農場を開設。10月洲崎遊郭廃業。                       | 7月東京都制が施行             |
| 1944年 | 昭和19年 | 甲申 | 2月歌舞伎座など19劇場に休業命令。11月24日米軍機B-29 約70機、東京初空襲。                | 8月学童集団疎開第一陣上野を出発      |
| 1945年 | 昭和20年 | 乙酉 | 3月9-10日 B-29 334機下町空襲(死者約10万人、焼失戸数23万戸)。9月占領軍が京橋・月島辺小学校接收。 | 8月無条件降伏               |
| 1946年 | 昭和21年 | 丙戌 | 4月都電・月島8丁目～勝鬨橋間開通。10月浅草復興祭りと浅草観音開帳(入出40万人)。                | 1月築地松竹映画劇場開場。         |
| 1947年 | 昭和22年 | 丁亥 | 1月隅田川の寒中水泳復活(6年ぶり)。5月浜離宮庭園が進駐軍の練兵場になる。                     | 9月キャスリーン台風(利根川決壊)     |
| 1948年 | 昭和23年 | 戊子 | 4月江東楽天地に宝塚歌劇が進出。8月両国川開き復活(11年ぶり)。                          | 3月新橋演舞場、再建開場          |
| 1949年 | 昭和24年 | 己丑 | 5月百花園(戦災で焼失)が復興協賛会により再生。7月三十間堀川埋立て三原橋他8橋撤去。                | 4月隅田公園に少年球場開設         |
| 1950年 | 昭和25年 | 庚寅 | 4月隅田川汽船(後・東京水上バス)吾妻橋～両国間の運航再開。                             | 1月両国国技館が浅草蔵前に移転       |
| 1951年 | 昭和26年 | 辛卯 | 4月三十間堀埋立地に東京温泉開業。5月浜町川埋立工事竣工。                              | 1月歌舞伎座復興、開場式挙行        |
| 1952年 | 昭和27年 | 壬辰 | 5月上野公園～亀戸～今井(15km)都内最初のトローリーバス開通。                          | 3月晴海埠頭建設工事開始          |
| 1953年 | 昭和28年 | 癸巳 | 10月鎧橋(都内最古の鉄橋)撤去。11月日本橋小伝馬町十思公園の「石町・時の鐘」都重宝に指定。            | 街頭テレビが人気を集める          |
| 1954年 | 昭和29年 | 甲午 | 3月築地中央市場に入荷のマグロなどから放射能検出(第五福竜丸漁獲)。                         | 6月曳船川埋立工事着工           |
| 1955年 | 昭和30年 | 乙未 | 1月曳船川埋立工事竣工、小梅水門～地蔵橋間道路完成。中川護岸工事竣工。                        | 5月晴海で第一回東京国際見本市開催     |
| 1956年 | 昭和31年 | 丙申 | 7月例年執行の「住吉の川渡し神事」墨田川汚濁で中止。8月築地川で中村雁治郎らによる船乗込み披露。           | 5月売春防止法公布             |
| 1957年 | 昭和32年 | 丁酉 | 1月トローリーバス、池袋駅前～亀戸4丁目開通(14km)。9月鎧橋、架替え工事竣工。                 | 12月深川沖のゴミ埋立開始(夢の島)。   |
| 1958年 | 昭和33年 | 戊戌 | 2月晴海地区と深川地区を結ぶ「春海橋」改架。7月隅田川沿岸一帯、河川汚染による金属黒変現象。             | 12月東京タワー完成            |
| 1959年 | 昭和34年 | 己亥 | 2月京成、押上地下駅(都営地下鉄相互乗入口)の起工式。5月晴月橋架設工事竣工。                    | 7月都バス錦糸町駅前～晴海埠頭前開通    |
| 1960年 | 昭和35年 | 庚子 | 4月隅田川と竪川の合流点に竪川水門竣工。5月浅草雷門建立(95年ぶり再興)。                     | 12月都営地鉄1号線浅草橋～押上開通    |
| 1961年 | 昭和36年 | 辛丑 | 7月「両国の川開き」として228年の伝統を持つ隅田川花火大会が今回で停止。                      | 9月15日第2室戸台風。          |
| 1962年 | 昭和37年 | 壬寅 | 1月「佃新橋」起工式。5月営団地下鉄日比谷線、人形町～北千住間開通。                         | 2月都の常住人口が1000万人突破     |
| 1963年 | 昭和38年 | 癸卯 | 3月辰巳水門竣工。中川放水路完成。6月明石町と佃島を結ぶ橋(佃大橋)に日本最大の橋桁架設。              | 8月砂町水門竣工。             |
| 1964年 | 昭和39年 | 甲辰 | 7月佃大橋架橋、佃の渡し廃止。10月東京オリンピック聖火が隅田川上を通過。                      | 10月第18回オリンピックが東京で開催   |

|       |       |    |  |                       |
|-------|-------|----|--|-----------------------|
| 1965年 | 昭和40年 | 乙巳 | 2月玉ノ井「おはぐろどぶ」暗渠。10月隅田川沿岸住民の「隅田川浄化促進大会」開催。      | 9月都下水道局尾久ポンプ場完成       |
| 1966年 | 昭和41年 | 丙午 | 1月永代橋、補修工事のため通行止。「江戸前のハゼを守る会」を日本釣魚会連盟など11団体結成。 | 4月銀座にソニービル完成          |
| 1967年 | 昭和42年 | 丁未 | 4月夢の島へのゴミ投棄終了。都、北区の浮間下水処理場作業開始。                | 12月都電撤去本格化。           |
| 1968年 | 昭和43年 | 戊申 | 5月尾久橋竣工。9月トロリーバス、上野公園～今井、池袋～亀戸の2線廃止。           | 2月都電11系統(月島～新宿)廃止。    |
| 1969年 | 昭和44年 | 己酉 | 2月東京駅八重洲大地下街完成。3月営団地下鉄東西線全線開通。                 | 10月鐘紡東京工場閉鎖。          |
| 1970年 | 昭和45年 | 庚戌 | 1月落語席亭人形町「末広亭」閉鎖。8月銀座・浅草などで日曜日の歩行者天国実施。        | 11月作家三島由紀夫が割腹自殺       |
| 1971年 | 昭和46年 | 辛亥 | 3月国鉄が山手線の呼称を「やまて線」から「やまて線」に統一。                 | 7月銀座三越に日本マック第1号店開業    |
| 1972年 | 昭和47年 | 壬子 | 7月15日国鉄東京地下駅完成、総武地下鉄新線の東京～錦糸町間が開通。             | 4月川端康成(72)卒           |
| 1973年 | 昭和48年 | 癸丑 | 5月22日 江東区区議会が杉並区のごみを「新夢の島」へ搬入拒否。               | 9月中央線にシルバーシートが登場      |
| 1974年 | 昭和49年 | 甲寅 | 1月 東京の無降水が71日の新記録で各地で火災発生。                     | 4月東京国立博物館でモナリザ展開催     |
| 1975年 | 昭和50年 | 乙卯 | 6月10日 銀座の、都営浴場第一号「銀座湯」完成。                      | 乱塾時代(小学生62%。中学生45%塾通) |
| 1976年 | 昭和51年 | 丙辰 | 10月1日 国鉄総武線の東京～品川間地下線開通。                       | 2月浅草電気館(最古常設映画館)閉鎖    |
| 1977年 | 昭和52年 | 丁巳 | 9月5日読売巨人軍のお王貞治が初の国民栄誉賞を受賞。                     | 4月有楽町日劇ミュージックホール閉鎖    |
| 1978年 | 昭和53年 | 戊午 | 7月29日 墨田川の花火大会が17年ぶりに復活。                       | 9月八重洲ブックセンター開店        |
| 1979年 | 昭和54年 | 己未 | 隅田川大橋架橋。12月地下鉄千代田線北綾瀬～代々木上原間全線開通。              | 6月第五回先進国首脳会議が東京開催     |
| 1980年 | 昭和55年 | 庚申 | 4月25日 銀座昭和通り歩道わきで自動車運転手が1億円拾う。                 | 校内暴力・家庭内暴力が急増         |
| 1981年 | 昭和56年 | 辛酉 | 1月28日 有楽町日本劇場で「サヨナラ日劇フェスティバル」公演開催(48年の歴史に幕)    | ノーパン喫茶が流行             |
| 1982年 | 昭和57年 | 壬戌 | 1月15日浅草国際劇場で松竹歌劇団(SKD)が最終公演。                   | 3月上野動物園で創立100周年記念     |
| 1983年 | 昭和58年 | 癸亥 | 4月15日 浦安市に東京ディズニーランドがオープン。                     | 3月片岡千恵蔵(79)卒          |
| 1984年 | 昭和59年 | 甲子 | 9月23日蔵前国技館が両国国技館新設により35年の歴史を閉じる。               | 10月有楽町日劇跡にマリオン開業      |
| 1985年 | 昭和60年 | 乙丑 | 1月7日東京の環状7号線全線開通 1月9日 両国に新国技館開館。               | 9月都庁の新宿移転決定           |
| 1986年 | 昭和61年 | 丙寅 | 11月15日伊豆大島三原山が209年ぶりに噴火。11月16日江東区に深川江戸資料館開館。   | 地上げ屋が横行               |
| 1987年 | 昭和62年 | 丁卯 | 6月3日都が、臨海部副都心建設の開発基本構想を発表。                     | 10東京株式市場が下落率過去最大      |
| 1988年 | 昭和63年 | 戊辰 | 3月17日後樂園に屋根付き球場「東京ドーム」完成。                      | 自粛ブーム                 |

江戸下町文化研究会編集 引用・参考文献 「武江年表」齊藤岑月著平凡社：「年表 隅田川」真泉光隆著日本図書刊行会：「江戸東京年表」吉原健一郎・大濱徹也編小学館：他